

シエルトの我が家でキャンプめし

▼ツイルトの中は想像以上にぬくぬく



「ツイルト」は、長さ調節できる「自在結び」を覚えれば、立ち木にツイルトの両端を固定する結び方は免許皆伝。参加した方は「今まで適当に結んでいたのに、これを知りたかった」と真剣に練習していました。でも広場で設営する時は「実際に木でやると感覚違うね」とちょっと苦戦。何度かトライして綺麗にツイルトを張り、さらには地面を掘って掘り



2月6日、旭岳ビジターセンターにて「雪遊び広場」の特別企画「雪上キャンプ&クッキング」を開催しました。まずは館内で講師の鳥羽晃一さん(ガイドオフィス風)に、ツイルト(緊急用の軽量テント)の設営で役立つロープワークを習いませ

炬燵風にするなど、思い思いの「我が家」が完成しました。

午後からは、コンビニなどで手軽に揃う食材を使ってキャンプめしを調理。フリーズドライのミネストローネやおつまみのチーズ鱈を使った「パエリア風炊き込みご飯」を作ったり、チーズ味のスナックやようかんを竹串に刺してバーナーであぶったり。ちょっとした工夫でいつもの食材がアウトドア料理に変身し、子どもだけでなく大人も心躍るキャンプを楽しみました。

雪遊び広場では3月も特別企画を実施予定(参加無料)。他にもこの時期しかできないツアーや観察会(こちらは有料)も開催しています。あなたも「東川の冬」楽しんでみませんか？

冬の魅力を体験、サイクリングモニター

1月23日・24日と2月6日・7日の2回、冬のサイクリングモニターツアーを行いました。「主催・町、共催・(株)東川振興公社、(有)アグリテック」

自転車愛好家らが各回16名参加し、冬の東川の魅力を体験。1日目はキトウシ森林公園から天人峡温泉までの銀世界をファットバイク(極太タイヤの自転車)でサイクリング。しきしま荘のおいしい食事と温泉で日頃の疲れと頑張った脚を癒しました。2日目は、雪のある冬しか入ることのできない旭岳源



水公園の周辺をスノーシューで探検。大雪山自然学校の小沼秀樹さんに、エゾシカの足跡やアカゲラのドラミングなど、その日出会った動植物を丁寧に解説してもらいました。お昼は市街地で東川の「食」を満喫し、キャンモアスキービレッジでスノースクートを体験。これは近年人気の雪上を滑る自転車状のそりで、初心者でも簡単に乗りこなせるアイテムです。東川のいろいろな楽しみ方を体験できるこのツアーは、今回の参加者の意見を参考にパッケージ化を検討しています。

0歳から本と仲良くブックスタート

「東川で暮らす全ての赤ちゃんを保護者が心健やかに成長できますように」。そんな願いを込めて、毎月の7ヵ月健診で町から「ブックスタートパック」をプレゼントしています(2005(平成17)年から継続中)。パックの中身は、数種類の中から親御さんが選んだ「文字なし」と「あり」の絵本各1冊と、読み

聞かせアドバイス集、赤ちゃん

絵本ガイド。「家で赤ちゃんと一緒に楽しい時間を過ごしてほしい」とほんの森スタッフがお心を入れたメッセージを添えてお渡ししています。さらに、毎年4月には新小学1年生にも本をプレゼント。本は「幸せな時間」を私たち



にもたらしてくれます。「成長の傍らにいつも本がある」、そんな暮らしを、町も応援しています。せんとびゅあⅡほんの森キッズコーナーには赤ちゃん絵本のコーナーもあります。「どんな本を選べば...？」と迷ったら、ほんの森にご相談ください。